

平成 22 年 6 月吉日

関係各位

PET ボトルリサイクル推進協議会
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
廃 PET ボトル再商品化協議会

PET ボトルリサイクルシンポジウムのご案内

拝啓 初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方におかれましては、日々、分別排出・分別収集・再商品化にと PET ボトルのリサイクルに、ご協力いただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、この度、経済産業省、農林水産省、環境省の後援を賜り、PET ボトルリサイクル推進協議会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会及び廃 PET ボトル再商品化協議会の主催による「PET ボトルリサイクルシンポジウム」を開催する運びとなりました。

ご承知の通り、使用済み PET ボトルは、容器包装リサイクル法の下、市民の皆様の分別排出と市町村の皆様による分別収集、事業者による再商品化（リサイクル）という役割分担により、国内で再利用されるというリサイクルシステムが確立しております。

しかしながら、使用済み PET ボトルの海外流出が増大し折角築き上げたリサイクルインフラやシステムが崩壊するのではという懸念が増しております。

また、「改正容リ法」の基本方針で、自治体で収集された PET ボトルについては指定法人への「再商品化のための円滑な引き渡し」が盛り込まれましたが、まだ十分にその運用がなされていない現状もございます。

リサイクルの多くを海外依存することで「安心・安全で持続可能なリサイクルシステム」を維持することが可能か、皆さまの努力で資源化された使用済み PET ボトルが海外に流出することは問題ではないのか、国内での CO₂ 削減効果も海外へ流出することをどう考えるか等、様々な課題を皆さまと共に考え議論して参りたいと存じます。

つきましては、別紙ご案内の通りシンポジウムを開催致しますので、何卒、多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

敬具